

田中聡前沖縄防衛局長の発言に対する抗議決議

去る11月28日、田中聡前沖縄防衛局長が、普天間基地「移設」先の環境影響評価書の提出時期を問われ「これから犯しますよと言いますか」と、性的暴行に例えた看過できない発言を行ったことが報道で明らかになった。

沖縄は、国土の面積ではわずか0.6%にすぎないのに、いまなお74%の在日米軍基地が集中させられている。そして県民は、米軍基地あるが故に、米兵による少女暴行事件や県民の尊い生命が奪われた事件・事故など、筆舌に尽くしがたい苦しみと痛み、人権蹂躪が戦後66年も強いられている。

この沖縄における防衛省のトップである沖縄防衛局長の発言は、県民の長年の耐え難い苦痛を嘲笑い、県民と女性を侮辱し愚弄するもので言語道断である。

沖縄防衛局長は更迭されたとはいえ、この発言には、県民の総意に反し、沖縄に基地を今後も押し付ける政府・官僚の本音が見え、沖縄軽視と差別意識を露呈しており、到底許されるものではない。

よって本市議会は、田中聡前沖縄防衛局長の発言に激しい怒りを込め抗議し、県民の前での発言の撤回及び謝罪と防衛大臣の責任を明確にすること、及び環境影響評価書の提出を断念することを強く求める。

以上、決議する。

平成23年（2011年）12月1日

那覇市議会

あて先 内閣総理大臣、防衛大臣